

水に感謝を

みなさんは、水のことをどう思っていますか。わたしの家の前には、川が流れています。わたしは、小さいころから川と共に生きてきました。

でも最近川に空きカンや、タバコのすいがらなどが流れてきます。このままでは、川がよごれてしまうと、ゴミ拾いをするのにしました。夏は、冷たくて気持ちいい川に入っているもふくる満たんにゴミを拾いました。

「またそんなゴミ流れてくるんか。すごい量やな。でも全部拾ってくれたから、川が喜んでるわ。」

わたしは、祖父の言葉に笑顔を見せていました。でも、すごく心配なことがあります。毎日ゴミが流れてくるので、わたしがゴミ拾い

山添村立山添中学校 一年

尾谷 莉菜

をやらなくなったら、どうなるのかなと思いましたが。

わたしは、ゴミ拾いをして気付いたことがあります。それは、あるテレビを見ていたときです。その時、外国の水のことについて放送していました。外国では、水不足や水質汚染などの被害で水を安全に使用できないことを知りました。父に、

「世界には、水を安全に使用できない人がいるんやから。水を大切に使わなあかんぞ。」と言われた、ああそやなあと思いました。

世界では、約十一億人の人が安全な飲み水が使用できません。しかし日本は、百パーセントの人が安全な飲み水を飲み、料理をし、洗たくができます。でも川にゴミを流したりしています。世界には、安全な飲み水を飲め

ず苦しんでいる人たちがいるのに、どうして簡単にゴミをすてられるのかすごく疑問に思いました。

水はわたしたちの食にも大きな関係があります。今わたしたちの家では、田植えの最中ですが、わたしは、毎年手伝いをしていきます。米作りには、必ず水が必要なんです。だから水がないとおいしいお米が作れません。だから水に感謝し、お米を作ります。

わたしたちの生活に水は、絶対必要なものです。でもわたしは、身近に水があるからむだ使いをしたり、ゴミを捨てたりできると思っています。水は、あつてあたり前だと思ってるから。水は、じゃ口をひねると出てくるものだから。水は、じゃ口をひねると出てくるものは、動物にとっても植物にとっても、そしてわたしたちにとっても必要なものです。だから、もっと水のことを知ってもらいたい、水のことに関心をもってもらいたい。わたしはそう思います。

「水は、昔から大切に使われてんねんから、むだ使いは、したらあかんぞ。」
昔からわたしは、この言葉を言われ続けてき

ました。わたしは、水をむだ使いしたことこ
うかいしています。

わたしたちは、もっと水に感謝しなければ
なりません。水はつねにわたしたちの身近に
あり、じゃ口をひねると必ず出てきます。で
も水は、むだ使いをするためにあるのではあ
りません。ゴミを捨てるためにあるのではあ
りません。だから水に感謝する気持ちをもつ
てもらいたいと思います。

水。それは、なくてはならないもの。
水。それは、生きていく中で必要なもの。

水。それは、感謝しなければならぬもの。
またどこかで水を、むだ使いしている人が
いるのかな。